

2022年3月31日

「道徳性・向社会性」分科会 令和3年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

東北大学 長谷川真里

活動報告

日本教育心理学会第63回総会、および日本発達心理学会第33回大会において、シンポジウムおよびラウンドテーブルを企画した。

日本教育心理学会シンポジウムタイトル「幼年期を対象とした道徳性発達研究」

企画：長谷川真里（東北大学）、企画：越中康治（宮城教育大学）、話題提供：樟本千里（岡山県立大学）、話題提供：古川善也（広島大学）、話題提供：清水由紀（早稲田大学）、話題提供：熊木悠人（福岡教育大学）

企画主旨および報告

幼児期から児童期初期にかけては、心の理論、感情理解、実行機能等、こころの様々な側面が急速に発達する時期でもある。幼児期から小学低学年の子どもを対象とした道徳性発達研究は、現在、どのように展開しているのか。どのような方法論があり得るのか。登壇者の研究方法はストーリーを提示し理由付けを丁寧に見ていく方法、社会心理学的な巧妙な実験、言語能力に依拠しない視線を利用した方法等、多岐にわたる。話題提供を通して、幼年期を対象とした道徳性発達研究の最新の知見、及び今後の研究の方向性を考えた。

本シンポジウムはオンデマンド配信の形式で開催され、個別に質問を受ける形で双方向の議論を行った。

日本発達心理学会 RT タイトル「攻撃性の発達研究：理論からいじめの実践研究への展開」

企 画：	長谷川 真里	（東北大学大学院教育学研究科）
企 画：	越中 康治	（宮城教育大学大学院教育学研究科）
司 会：	越中 康治	（宮城教育大学大学院教育学研究科）
話題提供：	勝間 理沙	（京都大学高等教育研究開発推進センター）
話題提供：	関口 雄一	（山形大学学術研究院地域教育文化学部担当）
話題提供：	久保 順也	（宮城教育大学大学院教育学研究科）
指定討論：	加藤 道代	（東北大学名誉教授・尚絅学院大学）

企画主旨および報告

攻撃性は、社会性の発達研究の中でも中心的なテーマとして検討されてきた。本 RT では、理論や実証研究の最新の展開を共有すると共に、攻撃性研究から学校現場におけるいじめの問題を紐解いていくことを目指した。本 RT は、オンラインでのリアルタイム実施であった。指定討論者からの刺激的なコメントに加え、Zoom 上で参加者との議論を行った。

以上